

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;"><b>図書館資料論</b></p>	<p>対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 教育教福 2 回生 人間人社 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;"><b>内藤 朱美</b></p>
<p>授業テーマ 図書館資料の種類と特質、図書及び図書館の歴史</p>		
<p>授業の概要と目標 図書館資料全般の特質を論じ、その出版と流通、選択、選書ツール、保存管理等について解説する。 図書館資料の形態、印刷、普及、流通等に関し、歴史的に概説し、併せて図書及び図書館の歴史について解説する。</p>		
<p>評価方法 講義中に出す課題（レポート）、不定期試験（授業内）と出席状況により評価。 成績評価基準： 出席 15% レポート 25% 不定期試験（授業内） 60%</p>		
<p>テキスト 資料・メディア総論： 図書館資料論・専門資料論・資料特論の統合化 第2版</p>	<p>著者 志保田務ほか</p>	<p>出版社 学芸図書</p>
<p>参考書 図書館資料論 新訂版（JLA 図書館情報学テキストシリーズ；7） 図書及び図書館史（JLA 図書館情報学テキストシリーズ；12）</p>	<p>著者 馬場 俊明 小黒 浩司</p>	<p>出版社 日本図書館協会 日本図書館協会</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>第1回 図書館資料論：資料全般1 図書館資料について、電子資料の時代</p> <p>第2回 図書館資料論：資料全般2 1次資料・2次資料、蔵書を構成する資料</p> <p>第3回 図書館資料論：資料全般3 単行書、雑誌、新聞</p> <p>第4回 図書館資料論：資料全般4 小冊子、地図、政府刊行物、地域資料、点字資料、マイクロ資料、映像資料、音声資料、電子資料、オンラインデータベース</p> <p>第5回 図書館資料論：出版と流通1 出版流通システム：流通経路、灰色文献</p> <p>第6回 図書館資料論：出版と流通2 出版流通システム：再販制度、出版と流通の電子化</p> <p>第7回 図書館資料論：選択・選書ツール1 蔵書構成方針、選書基準、選書論</p> <p>第8回 図書館資料論：選択・選書ツール2 選書論2， ツールの利用法、選書のための情報源</p> <p>第9回 図書館資料論：受入・保存・管理 資料の受入、保存、管理、除籍（紙の劣化防止、共同保存など）、発注・寄贈・交換、予算の管理、書庫管理の意義、蔵書点検</p> <p>第10回 図書および図書館史1：西洋1 古代から中世</p> <p>第11回 図書および図書館史2：西洋2 近世から現代</p> <p>第12回 図書および図書館史3：日本1 古代から中世</p> <p>第13回 図書および図書館史4：日本2 近世から現在</p> <p>第14回 図書および図書館史5：中国、中近東</p> <p>第15回 まとめ</p>		